

# 学校保健統計調査結果概要

平成 14 年度

東 京 都

## ま え が き

学校保健統計調査（文部科学省・指定統計第 15 号）は、文部科学省が学校教育法により設置された小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び幼稚園の児童、生徒及び園児の発育状態並びに健康状態を把握するために、昭和 23 年度以降毎年度実施しています。

この概要は、平成 14 年度調査結果の東京都分と全国の結果を収録したものです。

東京都における学校保健行政をはじめ、関係各方面の基礎資料として、この概要を幅広く御活用いただければ幸いです。

なお、この概要を発行するに当たり、調査の実施に格別の御協力をいただきました調査実施校の教職員の皆様に対し、深く感謝の意を表します。

平成 15 年 2 月

東京都総務局統計部長  
早 川 智

## 利用上の注意

- 1 年齢は、平成 14 年 4 月 1 日現在の満年齢である。
- 2 表中に用いた符号
  - 「 - 」 皆無又は該当数字のないもの
  - 「 ... 」 調査対象とならなかったもの
  - 「 0.00 」 計数が単位未満のもの
  - 「 ■ 」 網掛けは、過去最高値及び間差の最大値を示す
- 3 数値は四捨五入しているため、計欄と内訳の合計数値が一致しない場合がある。
- 4 この結果概要の数値は、後日文部科学省から公表される確定値と異なる場合がある。

# 目 次

今年度調査結果の特徴 .....	1
調査の概要 .....	2
調査結果の概要 .....	3
1 発育状態 .....	3
(1) 身長 .....	4
(2) 体重 .....	4
(3) 座高 .....	4
2 年齢間比較 .....	5
3 男女間比較 .....	5
4 発育量比較 .....	6
(1) 男子 .....	6
(2) 女子 .....	7

以下の統計表（東京都及び全国）は、エクセル形式で別表に掲載

- 1 身長・体重・座高の平均値及び標準偏差
  - 2 疾病・異常被患率等（男女合計）
  - 〃 疾病・異常被患率等（男子）
  - 〃 疾病・異常被患率等（女子）
- （参 考）
- 平均身長・体重・座高の推移（男子）
  - 平均身長・体重・座高の推移（女子）

## 今年度調査結果の特徴

- 1 身長 中学2年(13歳)男子が161.0cmと調査開始以来最高となった。
- 2 座高 中学2年(13歳)男子が85.7cm、高校2年(16歳)男子が91.3cm、高校1年(15歳)女子が85.5cm、高校2年(16歳)女子が85.8cmでともに調査開始以来最高となった。
- 3 男女差 小学5年(10歳)と小学6年(11歳)の女子は、身長、座高が同年男子を上回っている。  
一番成長した時期(年齢間差の最大時期)は、身長、体重、座高とも、男子が中学1年(12歳)から中学2年(13歳)で、女子は小学5年(10歳)から小学6年(11歳)となっており、女子の方が2年早い。

## 調 査 の 概 要

### 1 調査の目的

児童、生徒及び幼児の発育状態及び健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

### 2 調査事項

- (1) 児童、生徒及び幼児の発育状態（身長・体重・座高）
- (2) 児童、生徒及び幼児の健康状態（疾病・異常等）

### 3 調査対象

調査対象は、国・公・私立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び幼稚園のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する調査実施校（確率比例抽出）に在籍する満5歳から17歳までの幼児、児童及び生徒（通信制課程を除く）の一部（系統抽出）である。

[ 調査対象内訳 ]

学校種別	学 校 (園) 数	1校(園)当たりの調査対象者	
		発育状態調査	健康状態調査
幼稚園	35園	44人 ・ 5歳児のみ、男女22人	2学級の5歳児全員
小学校	60校	96人 ・ 学年ごとに男女各8人	6学級の児童全員 ・ 学年ごとに1学級
中学校	40校	120人 ・ 学年ごとに男女各20人	6学級の生徒全員 ・ 学年ごとに2学級
高等学校 (男子対象校)	30校	45人 ・ 学年ごとに男子のみ15人	3学級の男子生徒全員 ・ 学年ごとに男子のいる1学級
高等学校 (女子対象校)	30校	45人 ・ 学年ごとに女子のみ15人	3学級の女子生徒全員 ・ 学年ごとに女子のいる1学級

(注) 本表は、1都道府県当たりの調査対象数である。

### 4 調査日

平成14年4月から同年6月までの間に実施された学校保健法による健康診断の結果に基づき調査した。

## 調査結果の概要

### 1 発育状態(表1、図1、図2、 統計表)

平成14年度調査における東京都の子供の発育状態は、中学2年(13歳)男子の身長、中学2年(13歳)男子、高校2年(16歳)男子の座高、高校1年(15歳)女子、高校2年(16歳)女子の座高が調査開始以来過去最高(以下「最高」という。過去最高と同値を含む。)となった以外は、目立った変化はみられなかった。

#### (1) 身長

ア 男子は、中学2年(13歳)が161.0cmで最高となった。

イ 女子では、全学年のうち9学年が前年度より低くなっており、今年度は最高値はなかった。

#### (2) 体重

ア 男子は、今年度最高となる数値がなかったが、これは平成10年度以来である。

また、高校3年(17歳)では前年度より1.7kgと他の学年に比べ増加している。

イ 女子も、今年度最高となる数値がなかったが、これは平成9年度以来である。

#### (3) 座高

ア 男子は、中学2年(13歳)が85.7cm、高校2年(16歳)は91.3cmで最高となった。

また、平成4年度(10年前)と比較すると小学5年(10歳)以下の学年ですべて下回っており、逆に小学6年(11歳)以上の学年では同じか上回っている。

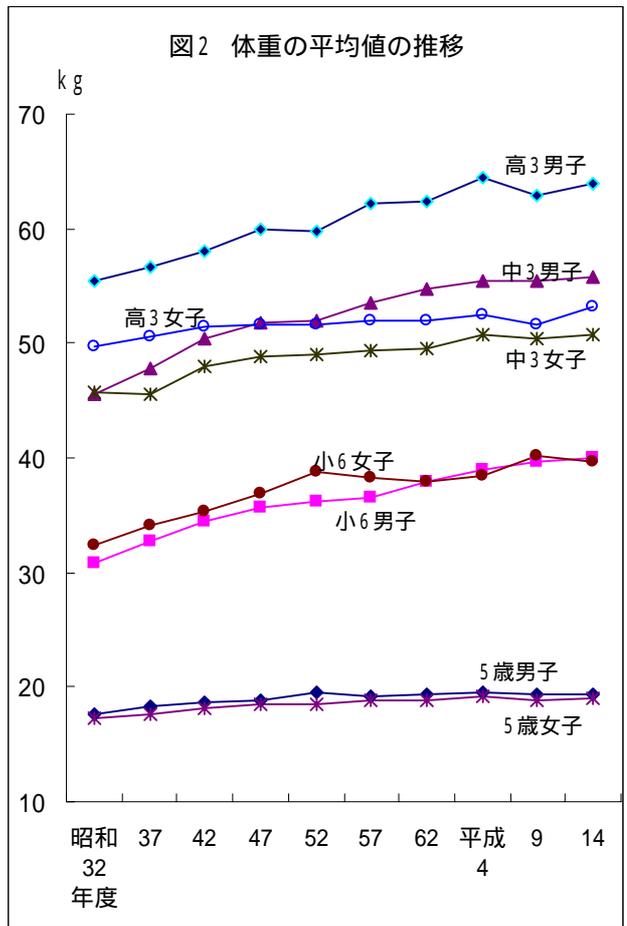
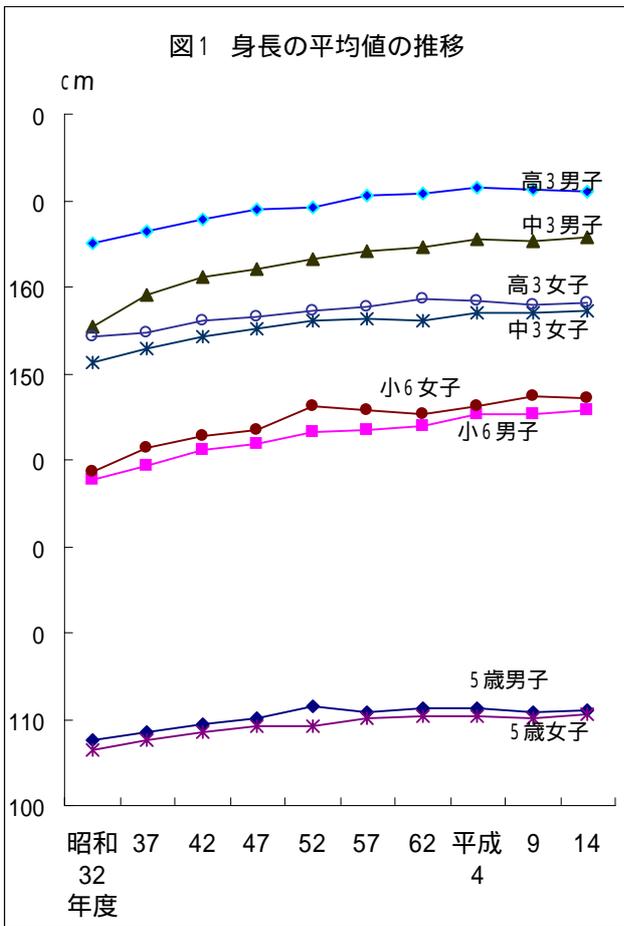
イ 女子は、高校1年(15歳)が85.5cm、高校2年(16歳)は85.8cmで最高となった。

表1 年齢別 身長、体重、座高の平均値

(単位 cm,kg)

区 分	男 子			女 子			
	身長	体重	座高	身長	体重	座高	
幼稚園 5歳	111.1	19.3	62.2	110.5	19.1	61.9	
小学校	1年 6	117.2	21.6	65.2	116.0	21.1	64.9
	2 7	123.4	24.6	68.2	122.2	23.8	67.6
	3 8	128.5	27.5	70.6	127.9	26.9	70.4
	4 9	133.8	31.6	72.9	133.5	30.5	72.9
	5 10	139.0	34.6	75.1	139.8	34.2	75.7
	6 11	145.7	40.0	77.9	147.1	39.7	79.3
中学校	1年 12	152.8	45.1	81.5	152.0	44.5	82.1
	2 13	161.0	51.5	85.7	155.4	48.5	83.9
	3 14	165.8	55.7	88.1	157.2	50.8	85.0
高 校	1年 15	168.7	60.9	90.2	157.7	52.4	85.5
	2 16	170.4	62.7	91.3	158.2	52.7	85.8
	3 17	171.1	64.0	91.7	158.1	53.2	85.6

(注) 網掛けは、調査開始(昭和23年度)以来の最高値(過去最高と同値を含む)



2 年齢間比較(表2)

身長、体重、座高の一番成長した時期(年齢間差の最大時期)をみると男子は、前年度より1年後の「12～13歳」となっている。

女子は、前年度と同様、身長、体重、座高とも「10～11歳」が最大となっている。

表2 年齢間差

(単位 cm,kg)

区分	男子			女子		
	身長	体重	座高	身長	体重	座高
5～6歳	6.1	2.3	3.0	5.5	2.0	3.0
6～7	6.2	3.0	3.0	6.2	2.7	2.7
7～8	5.1	2.9	2.4	5.7	3.1	2.8
8～9	5.3	4.1	2.3	5.6	3.6	2.5
9～10	5.2	3.0	2.2	6.3	3.7	2.8
10～11	6.7	5.4	2.8	7.3	5.5	3.6
11～12	7.1	5.1	3.6	4.9	4.8	2.8
12～13	8.2	6.4	4.2	3.4	4.0	1.8
13～14	4.8	4.2	2.4	1.8	2.3	1.1
14～15	2.9	5.2	2.1	0.5	1.6	0.5
15～16	1.7	1.8	1.1	0.5	0.3	0.3
16～17	0.7	1.3	0.4	-0.1	0.5	-0.2

(注) 網掛けは、間差の最大値を示す。以下の各表において同じ。

3 男女間比較(表3)

同年齢の男女間を比較すると、5歳から9歳までは身長、体重、座高とも男子が女子を上回っているが、10歳になると身長0.8cm、座高0.6cm、11歳では身長1.4cm、座高1.4cm、12歳では座高が0.6cm女子が男子を上回っている。

13歳から身長、体重、座高とも男子が女子との差を毎年拡大していき、男女差が最大となる時期は、17歳で身長13.0cm、体重10.8kg、座高6.1cmとなっている。

表3 年齢別 男女差

(単位 cm,kg)

区 分		身長	体重	座高
幼稚園	5 歳	0.6	0.2	0.3
小学校	1 年	1.2	0.5	0.3
	2 年	1.2	0.8	0.6
	3 年	0.6	0.6	0.2
	4 年	0.3	1.1	0.0
	5 年	0.8	0.4	0.6
中学校	6 年	1.4	0.3	1.4
	1 年	0.8	0.6	0.6
	2 年	5.6	3.0	1.8
高校	3 年	8.6	4.9	3.1
	1 年	11.0	8.5	4.7
	2 年	12.2	10.0	5.5
	3 年	13.0	10.8	6.1

(注) 印は、女子の数値が男子を上回っていることを示す。

#### 4 発育量比較

##### (1) 男子(表4、図3)

昭和59年度生まれ(昭和59年4月2日～昭和60年4月1日の間に生まれた者。以下同様)の17歳男子を昭和29年度生まれの親の世代と比べると、5歳時で身長0.6cm、体重0.2kg 昭和59年度生まれが親の世代を上回っている。

17歳までの発育量を比較すると昭和59年度生まれは、身長、体重とも11歳時が最大となっている。一方、親の世代は、身長、体重とも59年度生まれより1年後の12歳時が最大となっている。

表4 17歳男子の発育量比較

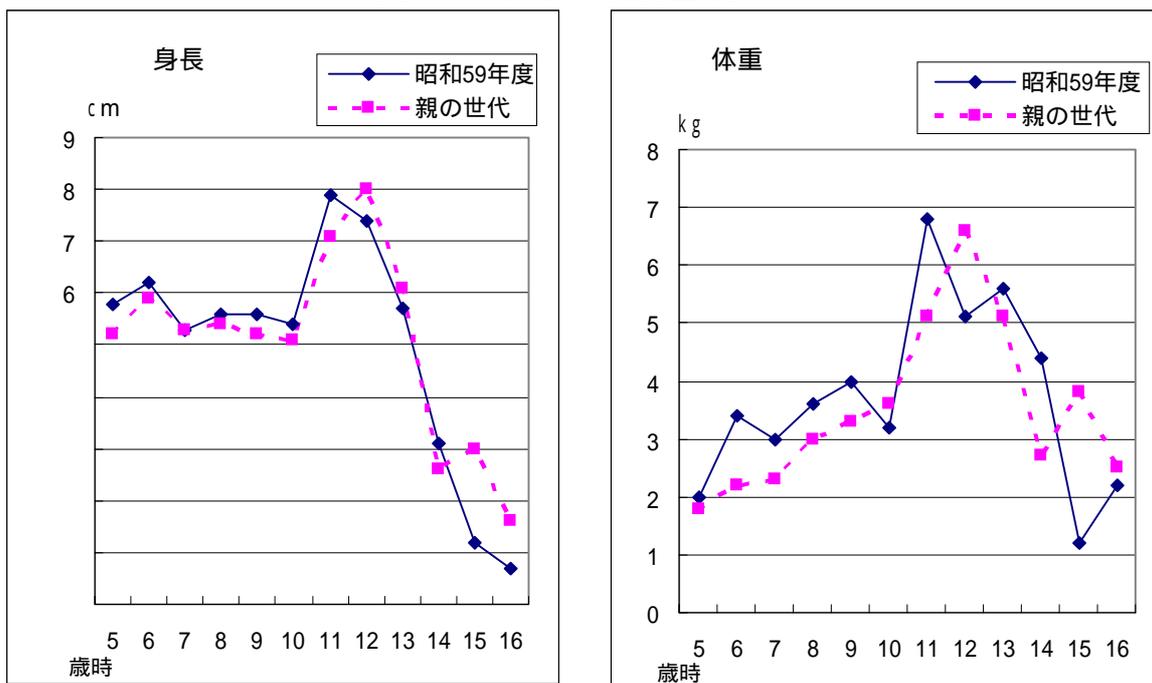
(単位 cm,kg)

区 分	身 長		体 重	
	昭和59年度	親の世代	昭和59年度	親の世代
5 歳時	5.8	5.2	2.0	1.8
6	6.2	5.9	3.4	2.2
7	5.3	5.3	3.0	2.3
8	5.6	5.4	3.6	3.0
9	5.6	5.2	4.0	3.3
10	5.4	5.1	3.2	3.6
11	7.9	7.1	6.8	5.1
12	7.4	8.0	5.1	6.6
13	5.7	6.1	5.6	5.1
14	3.1	2.6	4.4	2.7
15	1.2	3.0	1.2	3.8
16	0.7	1.6	3.4	2.5
総発育量	59.9	60.5	45.7	42.0

(注1) 昭和59年度生まれ5歳時の発育量 = (平成3年度調査の6歳 - 2年度調査の5歳) 体格差

(注2) 総発育量 = (17歳 - 5歳) 体格差

図3 17歳男子の発育量比較



(2) 女子(表5、図4)

昭和59年度生まれの17歳女子を昭和29年度生まれの親の世代と比べると5歳時で身長0.8cm、体重0.6kg 昭和59年度生まれが親の世代を上回っている。

17歳までの発育量を比較すると、昭和59年度生まれの身長は9歳時が最大となっており、親の世代は10歳時が最大となっている。

体重は昭和59年度生まれ、親の世代とも10歳、11歳時が同値で最大となっている。

また、それぞれの身長、体重の最大値は、親の世代が昭和59年度生まれを上回っている。総発育量についても同様に、親の世代が昭和59年度生まれを上回っている。

表5 17歳女子の発育量比較

(単位 cm,kg)

区分	身長		体重	
	昭和59年度	親の世代	昭和59年度	親の世代
5歳時	6.1	5.3	2.4	1.8
6	5.7	4.9	2.5	2.0
7	5.8	6.1	3.2	2.7
8	5.8	6.0	3.4	2.7
9	6.7	6.0	4.2	3.8
10	6.5	7.3	5.0	5.1
11	5.4	5.9	5.0	5.1
12	3.0	3.9	4.0	4.5
13	1.5	2.2	1.1	3.4
14	0.8	0.3	1.7	1.9
15	0.3	0.8	1.1	1.2
16	0.0	0.6	0.5	0.0
総発育量	47.6	49.3	34.1	34.2

(注1) 昭和59年度生まれ5歳時の発育量 = (平成3年度調査の6歳 - 2年度調査の5歳) 体格差

(注2) 総発育量 = (17歳 - 5歳) 体格差

図4 17歳女子の発育量比較

